

## 宮崎県・東九州自動車道全線開通への期待

～観光資源と海の幸が集中～

日本不動産研究所 宮崎支所  
不動産鑑定士 西村 哲治

「宮崎は、遠い。」出張等で大分から宮崎に移動してきた人々が、必ずと言っていいほど口にする言葉です。宮崎県と大分県は隣接する県ではありますが、JR日豊本線を利用した場合、宮崎・大分間の距離は約200キロメートル、特急利用でも現状では約3時間を要します。そんな宮崎県と大分県の間では、現在、東九州自動車道の整備が着々と進められており、平成25(’13)年2月16日には、蒲江インターチェンジと北浦インターチェンジとの区間が開業し、宮崎県と大分県が、他県を経由しない形で高速道路でつながりました。また、同3月23日には、清武ジャンクションと清武南インターチェンジとの区間が開業しています。平成28(’16)年度には、ついに宮崎～大分間の全線が供用開始となる予定であり、全線の供用開始によって、宮崎市と大分市との時間距離はより一層縮まることとなります。



「着々と工事が進む東九州自動車道」

宮崎県内の主要都市である宮崎市から延岡市を結ぶ区間では、日向～都農間が平成26(’14)年度末の開通を目指して工事が進められています。同区間の開通により、特に、宮崎市から延岡市や日向市への移動が容易になるほか、農畜産物に関する物流や救急医療、防災面での効果が期待されるのみならず、宮崎県内における観光面の効果も期待されます。宮崎市と延岡市を結ぶ区間には、さまざまな観光資源や、日向灘に育まれた豊かな海産物などを味わえる施設などがあります。

例えば、東九州自動車道の宮崎西インターチェンジに近接する「生目の杜運動公園」では、ソフトバンクホークスのキャンプが毎年開催されるほか、国の特別史跡である西都原古墳群（西都市）、日向国一之宮である都農神社や都農ワイナリー（都農町）、柱状岩が波の侵食で裂けて十文字に見える「クルスの海」（日向市）、鱧（はも）天井や新鮮な海の幸のお刺身を味わうことが出来る門川漁協直営のレストラン「うみすずめ」（門川町）、秋になると五ヶ瀬川にかけられる鮎やな（延岡市）などがあるほか、少し足を伸ばすと、延岡市の西方には、宮崎県内を代表する観光地である高千穂峡なども立地しています。



「日向国一之宮である都農神社（都農町）」



「柱状岩が波の浸食で十文字に見える『クルスの海』」

今後、東九州自動車道の開通を契機として、宮崎県北部エリアの素晴らしい観光施設を国内外の観光客の方々が多数訪れ、美味しい海の幸などを堪能してもらえることを心より願うところです。